

「小田急多摩線延伸促進シンポジウム」を開催しました

1. 日 時 平成24年10月20日（土）午後1時30分～4時10分
2. 会 場 相模原市立産業会館多目的ホール
3. 来場者 170名
4. 内 容 別紙プログラムのとおり
5. 結 果

（1）主催者あいさつ

- ・主催者を代表して、成川 猛 小田急多摩線延伸促進協議会会長より、あいさつがありました。



（2）来賓あいさつ

- ① 加山 俊夫 相模原市長
- ② 中村 昌治 相模原市議会議長
- ③ 黒田 聡 小田急電鉄株式会社交通企画部長
- ④ もとむら賢太郎 衆議院議員

（3）取組状況報告

- ・相模原市交通政策課より、小田急多摩線延伸に関する取組状況の報告が行われました。

（4）基調講演

- ・政策研究大学院大学の森地 茂 特別教授より、「鉄道整備の現状と今後の展望～小田急多摩線延伸にいま必要なこと」と題し、様々な事例を交えながら、貴重なご講演をいただきました。

発言要旨抜粋

- ・小田急多摩線延伸のためには、タイムスケジュールを明確することが重要である。
- ・都市が国際戦略をもつこと、チャンスを生かし良いまちをつくること、これに鉄道がどのように関係するのかが重要である。



(5) パネルディスカッション

- ・小田急多摩線延伸の必要性、目指すべき交通とまちづくりの姿をテーマに、コーディネーターである森地教授の進行のもと、谷口講師、加山市長、成川会長をパネリストに、それぞれの立場からご意見をいただきました。

(谷口講師) 公共交通ネットワークの充実している地域は、よく歩くため、健康的な人が多い。また、子どもの社会教育という点でも公共交通の利用促進は重要である。

(加山市長) 小田急多摩線が実現すると、都心への直結、更には羽田空港へのアクセス性向上が期待され、相模総合補給廠返還予定地を核としたまちづくり、広域的な産業構造の形成に寄与する。

(成川会長) 地域全体が発展するようなまちづくり、そのためには小田急多摩線の延伸が不可欠である。相模総合補給廠の一部返還予定地には、オンリーワンのシンボリックな施設をつくってほしい。

(森地教授・まとめ) ネットワークとしてつながることが重要である。小田急多摩線延伸の実現のためには、ここ1年が勝負である。



(6) その他

- ・会場ロビーでは、パネル展示や協議会マスコットキャラクターの投票が行われました。

小田急多摩線延伸促進シンポジウム

～小田急多摩線延伸の実現とこれからのまちづくりについて～

- ◇日時 平成24年10月20日（土） 午後1時30分から（開場：午後1時から）
◇会場 相模原市立産業会館多目的ホール
◇主催 小田急多摩線延伸促進協議会 ◇後援 相模原市

◇プログラム

午後1時30分 ■ 開会・あいさつ

■ 取組状況報告

小田急多摩線延伸の取組状況について（相模原市交通政策課）

午後2時00分 ■ 基調講演

「鉄道整備の現状と今後の展望～小田急多摩線延伸にいま必要なこと～」

講師：森地 茂 政策研究大学院大学 特別教授

午後2時40分 ■ 休憩

午後2時50分 ■ パネルディスカッション

「小田急多摩線延伸とこれからのまちづくりについて」

コーディネーター：

森地 茂 政策研究大学院大学 特別教授

パネリスト：

谷口 綾子 筑波大学大学院システム情報工学研究科講師

加山 俊夫 相模原市長

成川 猛 小田急多摩線延伸促進協議会会長

■ 質疑応答

午後4時00分 ■ 閉会

◇同時開催

「パネル展示」 & 「マスコットキャラクター投票」（会場：1階ロビー）

小田急多摩線延伸の取組等を紹介するパネル展示や協議会のPR活動等で活躍するマスコットキャラクターデザイン及び愛称の投票（選考）を行っています。休憩時間やシンポジウム終了後にお立ち寄りください。

出演者プロフィール

◇ 基調講演・コーディネーター



もりち しげる
森地 茂 政策研究大学院大学 政策研究センター所長・特別教授

1966年東京大学工学部土木工学科卒業。日本国有鉄道入社後、東京工業大学工学部土木工学科教授、東京大学大学院工学系研究科教授などを経て、2009年より現職。東京工業大学名誉教授、東京大学名誉教授。工学博士（東京大学）。専門分野は、国土政策、交通政策。国土審議会委員、社会資本整備審議会委員、交通政策審議会委員などを歴任され、現在も関東地方交通審議会会長、横浜市都市計画審議会会長などを務める。

◇ パネリスト



たにぐち あやこ
谷口 綾子 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 講師

2003年北海道大学大学院工学研究科都市環境工学博士課程修了。東京工業大学理工学部土木工学科科学研究支援員、日本学術振興会特別研究員などを経て、2005年より現職。工学博士（北海道大学）。専門分野は、都市交通計画、態度・行動変容研究。交通政策審議会環境部会臨時委員、運輸審議会運輸安全マネジメント部会専門委員などを務める。相模原市においては、橋本地区TDM推進委員会委員長（2010～2012）を務めた。



かやま としお
加山 俊夫 相模原市長

1967年東京経済大学経済学部卒業。相模原市に採用後、相模原市都市整備部長、経済部長、消防本部消防長、都市部長、助役などを経て、2007年より現職。神奈川県市長会顧問、相模原市米軍基地返還促進等市民協議会会長、リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会副会長などを務める。



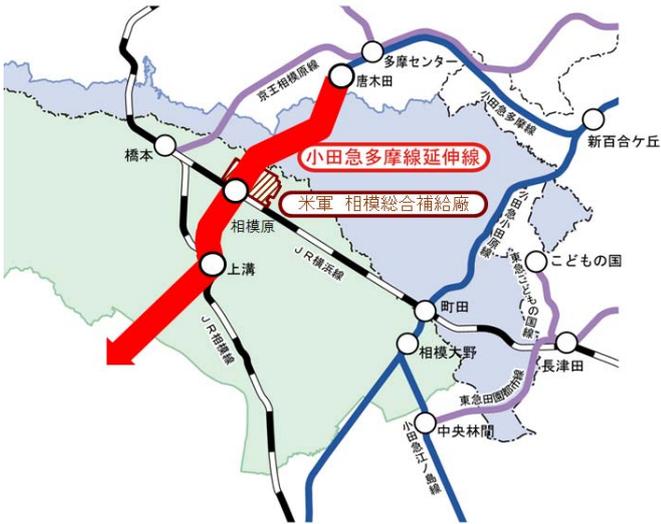
なりかわ たけし
成川 猛 小田急多摩線延伸促進協議会会長

1971年に成川電興（現 ㈱成川電興）を創業。会社経営の傍ら、相模原中央商店街理事長、相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会会長などを歴任。現在も横山6丁目自治会長を務めるなど、様々な場面で社会・地域に貢献している。

小田急多摩線延伸に向けた取り組み

◇小田急多摩線延伸の位置づけ

国の諮問機関である運輸政策審議会（現：交通政策審議会）の答申第18号「東京圏における鉄道整備計画」（平成12年1月）において、「唐木田から横浜線・相模線方面への延伸について、今後整備を検討すべき路線」に位置づけられています。更に、相模原市では、「都市計画マスタープラン」において、「田名地域を経由し、厚木・愛川方面への延伸」を位置づけ、延伸の実現に向けた取り組みを進めています。



延伸計画概要図



相模総合補給廠返還予定地

◇小田急多摩線延伸促進協議会とは

- 【目的】 小田急多摩線の延伸促進を目的とする
- 【沿革】 平成14年9月に沿線の自治会や商店会により設立
- 【構成】 市自治会連合会、地区自治会連合会、商工会議所、商店会・商店街協同組合など、30団体（会員数79名）で構成（24.10.20現在）

【主な活動】

- ・小田急電鉄(株)、神奈川県、相模原市、町田市、相模原市議会、町田市議会への要望活動の実施
- ・広報紙「小田急多摩線延伸ニュース」の発行
- ・市民まつり、さがみはらフェスタへ等での啓発活動の実施
- ・関係団体（町田市民団体、議員連盟）との連携

小田急多摩線延伸ニュース（第10号）⇒